

JIS

金属材料のシャルピーVノッチ衝撃試験— 計装化シャルピー衝撃試験機

JIS B 7755 : 2026

(JTM/JSA)

令和8年1月20日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	田 辺 新 一	早稲田大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	江 坂 行 弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	片 山 英 樹	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	鐘 築 利 仁	一般財団法人日本規格協会
	鎌 田 敏 郎	大阪大学
	倉 片 憲 治	早稲田大学
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	小 山 明 男	明治大学
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	高 津 章 子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	高 辻 利 之	一般社団法人日本計量機器工業連合会
	田 淵 一 浩	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	俵 木 登美子	一般社団法人くすりの適正使用協議会
	水 流 聡 子	東京大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	増 井 慶次郎	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	山 内 正 剛	国立大学法人信州大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 5.10.1 改正：令和 8.1.20

官 報 掲 載 日：令和 8.1.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本試験機工業会

(〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-2-5 DK・T ビル TEL 03-5289-7885)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 田辺 新一)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
3.1 衝撃力の特性値	2
3.2 変位の特性値	2
3.3 衝撃エネルギーの特性値	3
4 記号	3
5 原理	4
6 試験装置	4
6.1 計装化シャルピー衝撃試験機	4
6.2 計装化及び計装化装置の校正	4
7 試験片	7
8 試験手順	7
9 試験結果の評価方法	7
9.1 一般	7
9.2 衝撃力-変位曲線の評価	7
9.3 衝撃力の特性値の決定	8
9.4 変位特性値の決定	8
9.5 衝撃エネルギーの特性値の決定	10
10 試験報告書	10
附属書 A (参考) 計装化された衝撃刃の例	12
附属書 B (参考) 2 mm 衝撃刃の校正用支持ブロックの例	13
附属書 C (参考) 延性破面率の計算式	14
附属書 D (規定) ミニチュア試験片の計装化シャルピー-V ノッチ振り子衝撃試験	15
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	17
解 説	19

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本試験機工業会（JTM）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS B 7755:2011** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

金属材料のシャルピーVノッチ衝撃試験— 計装化シャルピー衝撃試験機

Metallic materials—Charpy V-notch pendulum impact test— Instrumented testing machine

序文

この規格は、2023年に第3版として発行されたISO 14556を基とし、技術的内容及び構成を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格にはない事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、金属材料のVノッチ試験片を用いる計装化シャルピー衝撃試験の方法及びその計測・記録装置の要件について規定する。

シャルピー衝撃試験を実施する際、試験機を計装化することで試験片の破壊挙動に対する更なる情報が得られる。なお、計装化されたシャルピー衝撃試験の解析結果は、構造物及び部材に直接的に適用してはならない。また、設計計算又は安全性評価に直接的に使用してはならない。

注記 1 計装化された衝撃試験に関する一般的な情報は、参考文献[1]～[5]に記載されている。

シャルピー衝撃試験機において、衝撃時の衝撃力及び変位を記録できるようにすることを計装化と定義する。

注記 2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 14556:2023, Metallic materials—Charpy V-notch pendulum impact test—Instrumented test method (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7722 金属材料のシャルピー衝撃試験—試験機の検証

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 148-2, Metallic materials—Charpy pendulum impact test—Part 2: Verification of testing machines